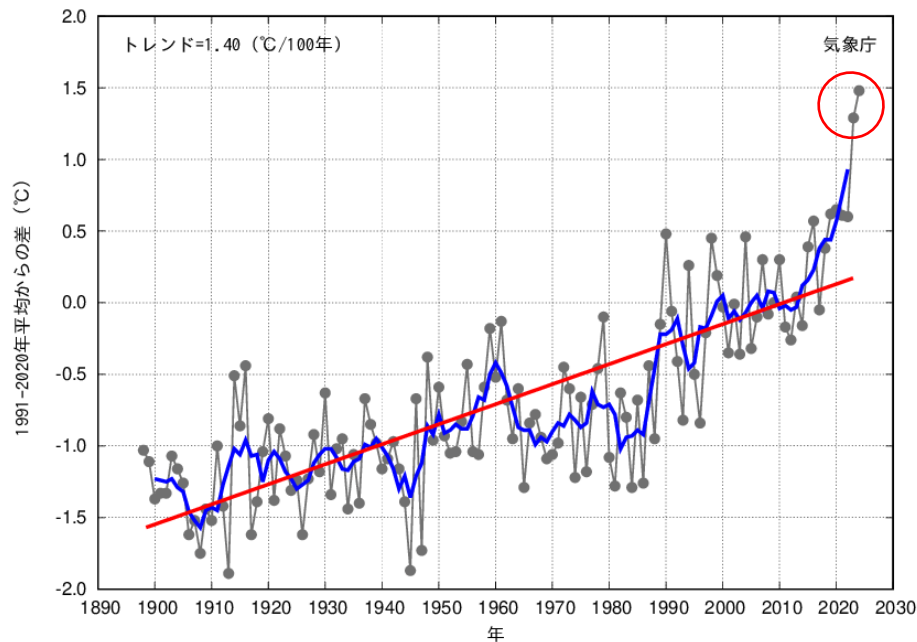
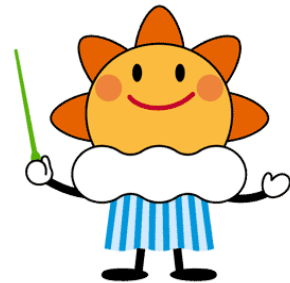


今冬の気象概況と 最新の3か月予報について



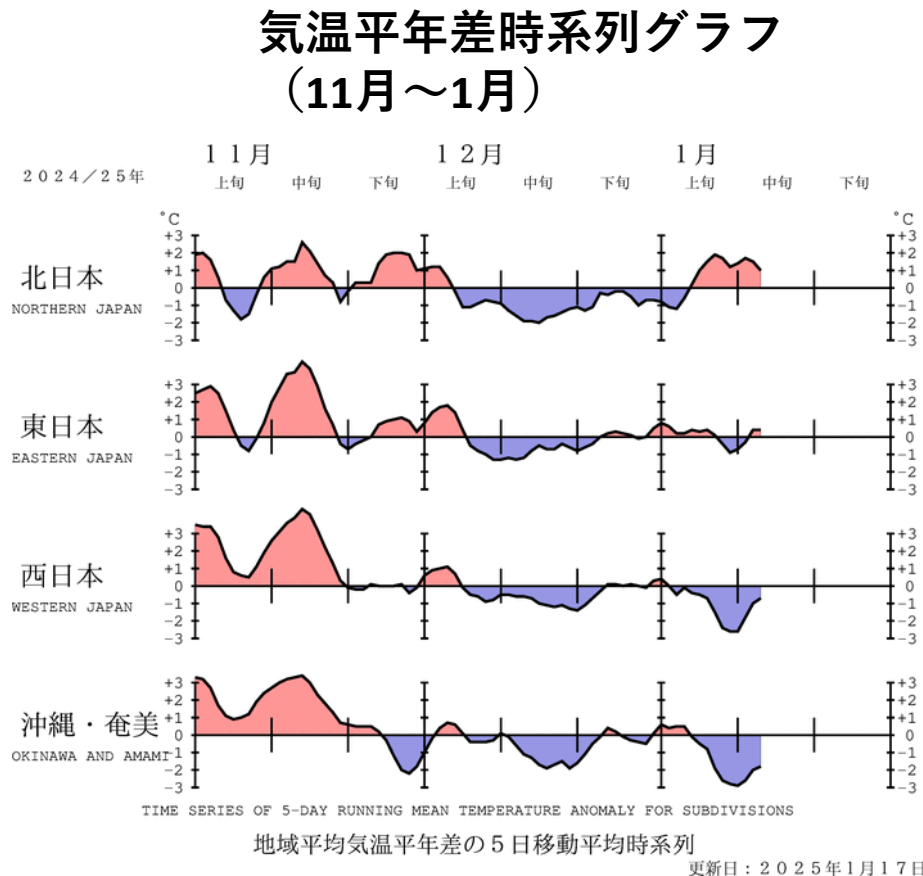
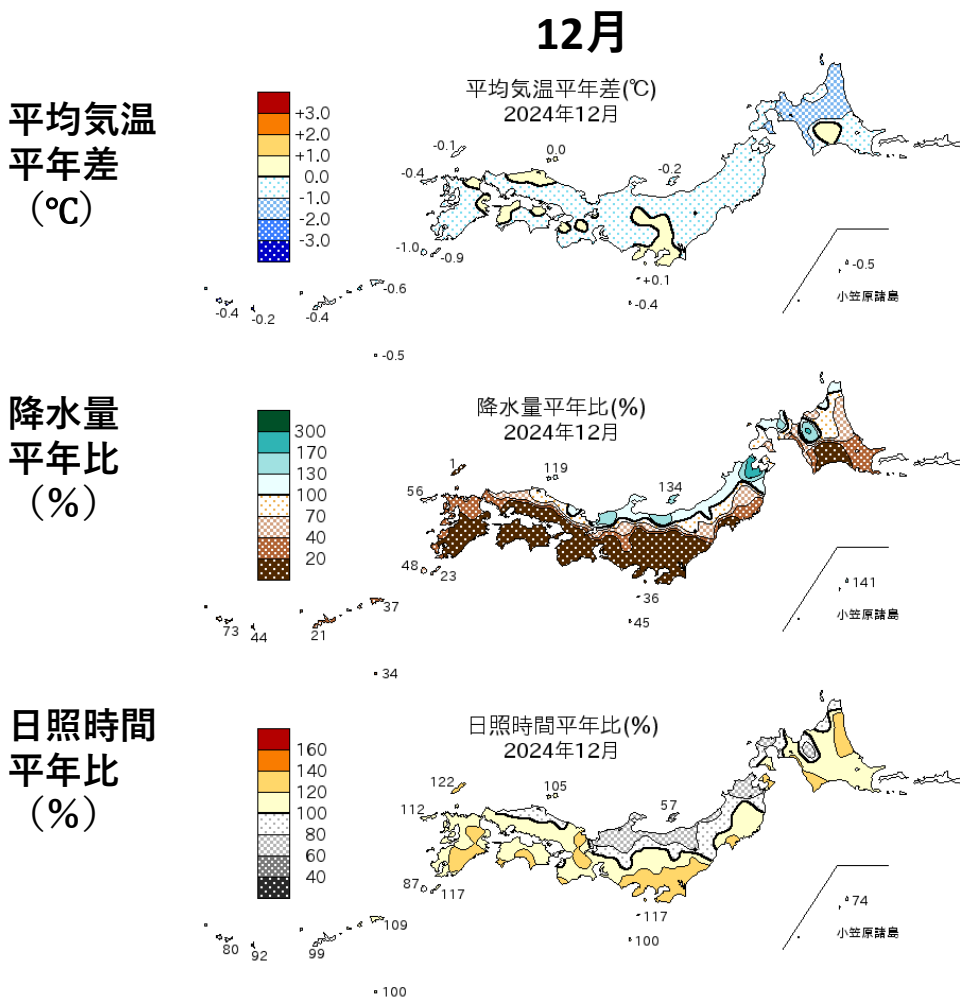
仙台管区气象台 気象防災部 地域防災推進課
地球温暖化情報官 中川憲一

- 今冬の気象概況
- 最新の3か月予報



2024年11月～2025年1月：12月から寒冬

- 11月までは平年より暖かい状況
- 12月から西高東低の冬型の気圧配置が続き、寒気の影響を受けやすかったため、全国的に気温が平年より低い日が多かった（特に北日本）



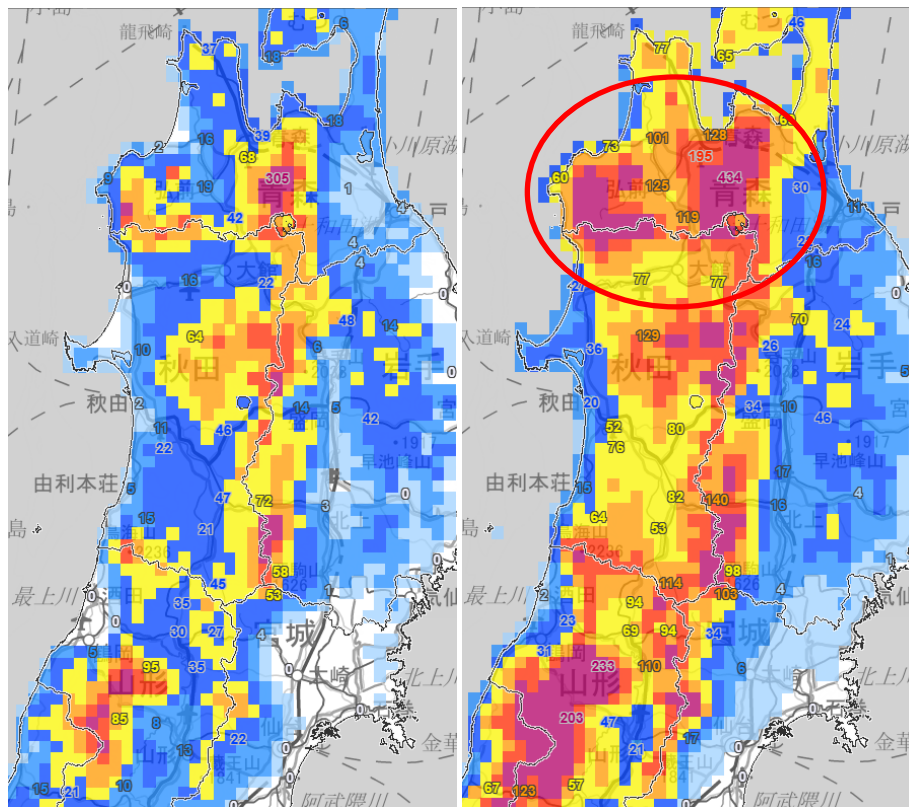
日本海側での大雪（12月～1月）

- 冬型の気圧配置となる日が多く、日本海側を中心に大雪となった
- 青森県では記録的な大雪

1/17の積雪深の比較

2024年（暖冬）

2025年



2025/1/17

日最深積雪（括弧内は平年値）

青森 128cm（55cm）

弘前 125cm（44cm）

今冬

平年の2～3倍程度の積雪

2024年の冬

記録的な暖冬

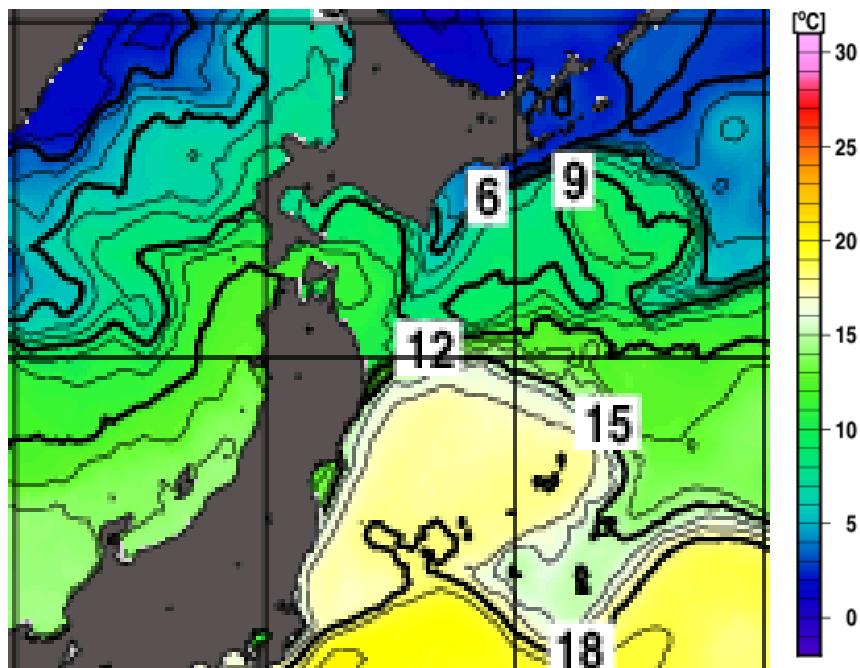
日本海側では降雪量がかなり少なかった

【気象庁HP】今後の雪

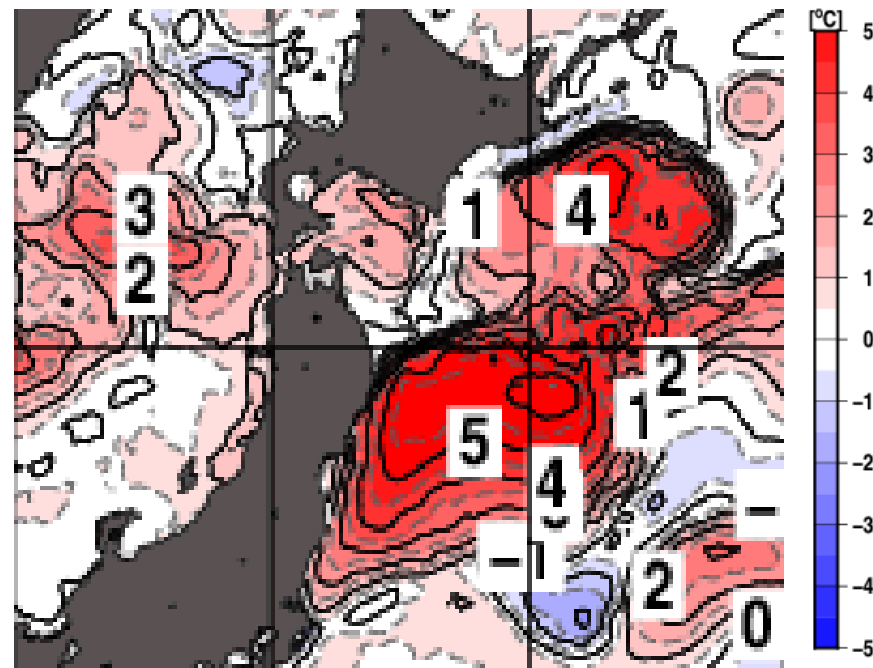
<https://www.jma.go.jp/bosai/snow/>

- 2023年春頃から、福島県沖から三陸沖で平年より高い状態が続く
 - 黒潮続流の北上が続く
- 日本海でも平年より高い状態が続く

2025年1月上旬 海面水温

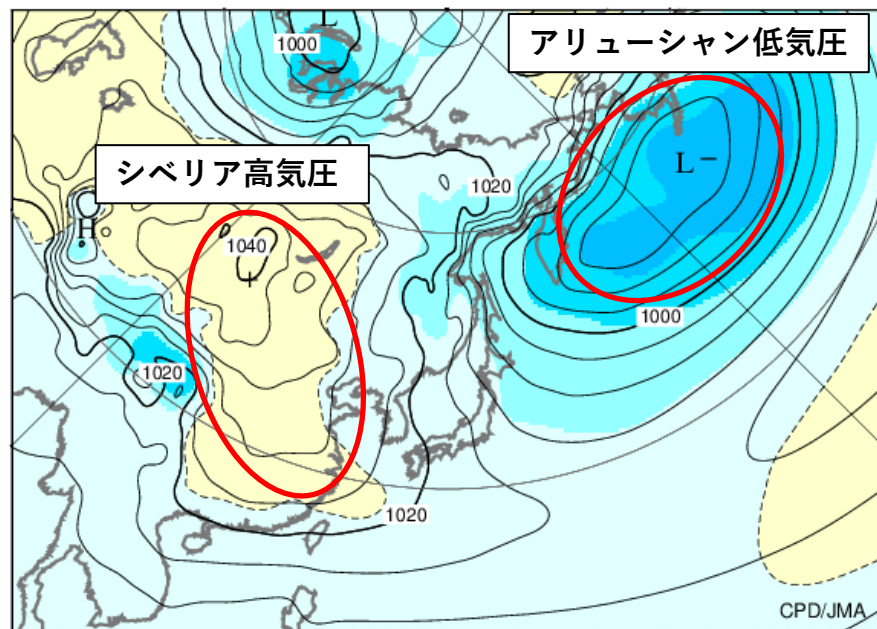


2025年1月上旬 海面水温平年差



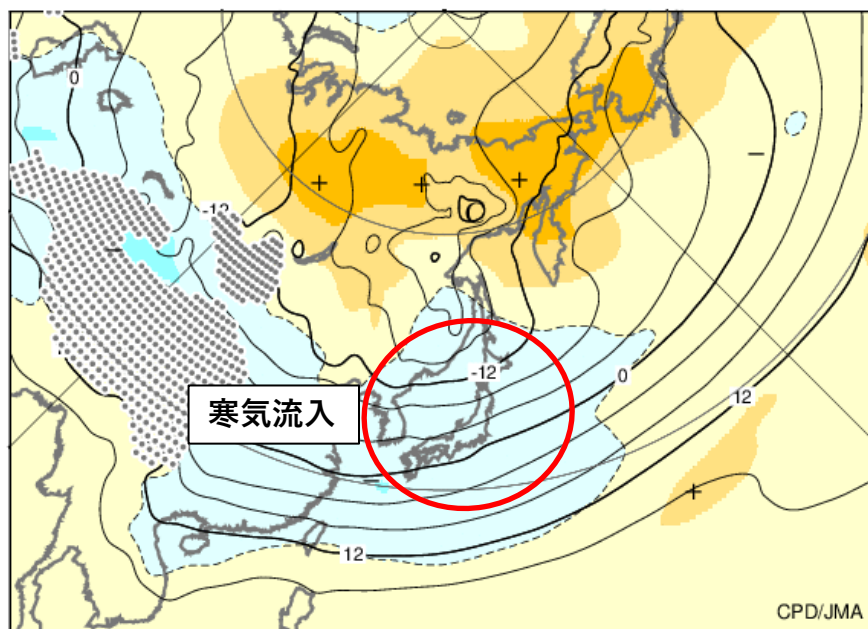
- アリューシャン低気圧が強く（平年より気圧が低い）、大陸のシベリア高気圧も強い（平年より気圧が高い）ので、日本付近には大陸からの寒気が流れ込みやすかった

2024年12月 海面気圧と平年差



anomalies (hPa)
-24 -20 -16 -12 -8 -4 0 4 8 12 16 20 24

2024年12月 850hPa気温と平年差

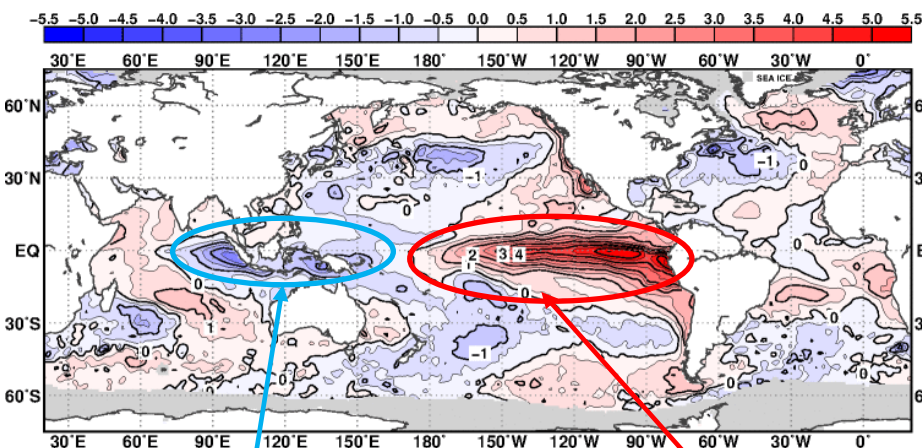


anomalies (°C)
-12 -10 -8 -6 -4 -2 0 2 4 6 8 10 12

- エルニーニョ現象やラニーニャ現象は日本の天候に大きな影響を与える

エルニーニョ現象時

1997年11月 海面水温平年差

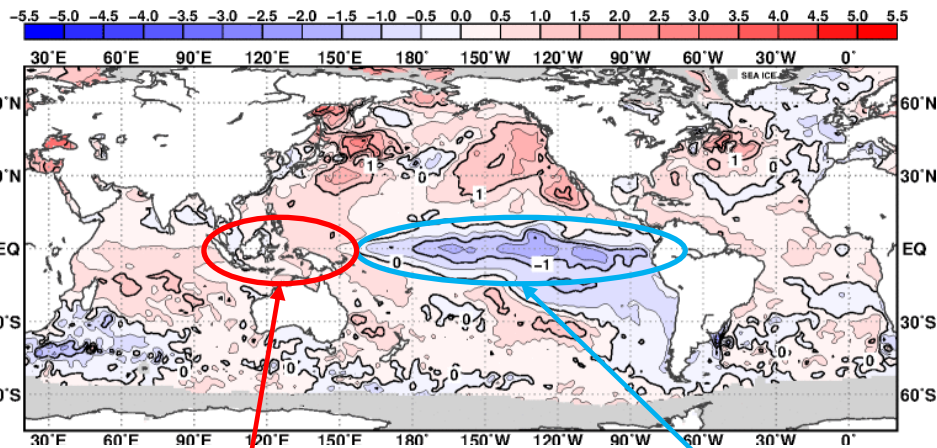


インドネシア周辺海域では
平年より**低い**ことが多い

南米ペルー沖の海面
水温が平年より**高い**

ラニーニャ現象時

2020年12月 海面水温平年差

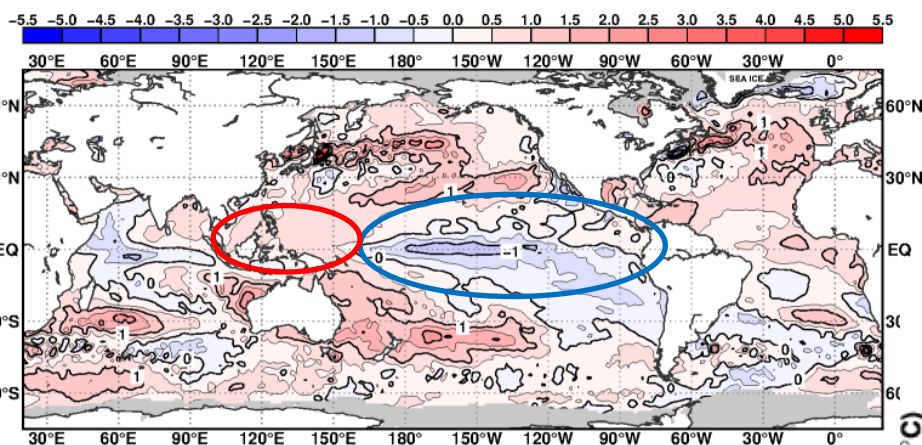


インドネシア周辺海域では
平年より**高い**ことが多い

南米ペルー沖の海面
水温が平年より**低い**

- エルニーニョ現象もラニーニャ現象も発生していない平常の状態と見られるが、ラニーニャ現象に近い状態となっている
- 冬の間はラニーニャ現象に近い状態が続くが、次第に弱まるため、春にかけてラニーニャ現象の定義を満たすまでには至らず、平常の状態が続く可能性が高い（80%）

世界の海面水温の平年差（2024年12月）



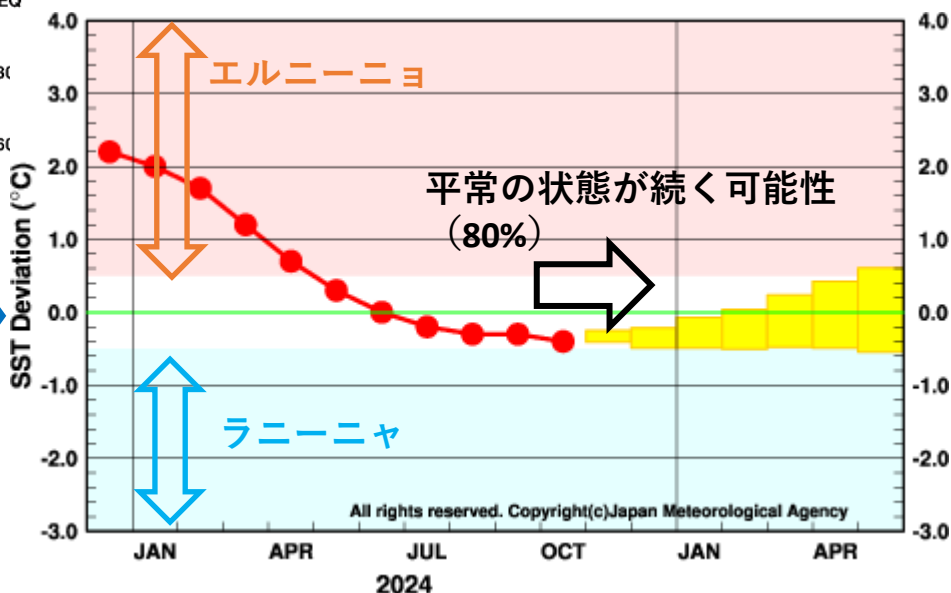
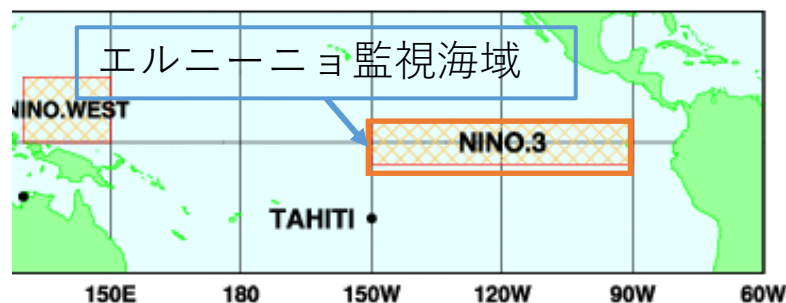
エルニーニョ監視海域

海面水温の基準値との差（実況と予測）

2023年12月～ 5か月移動平均値



熱帯海域はラニーニャ的な水温分布

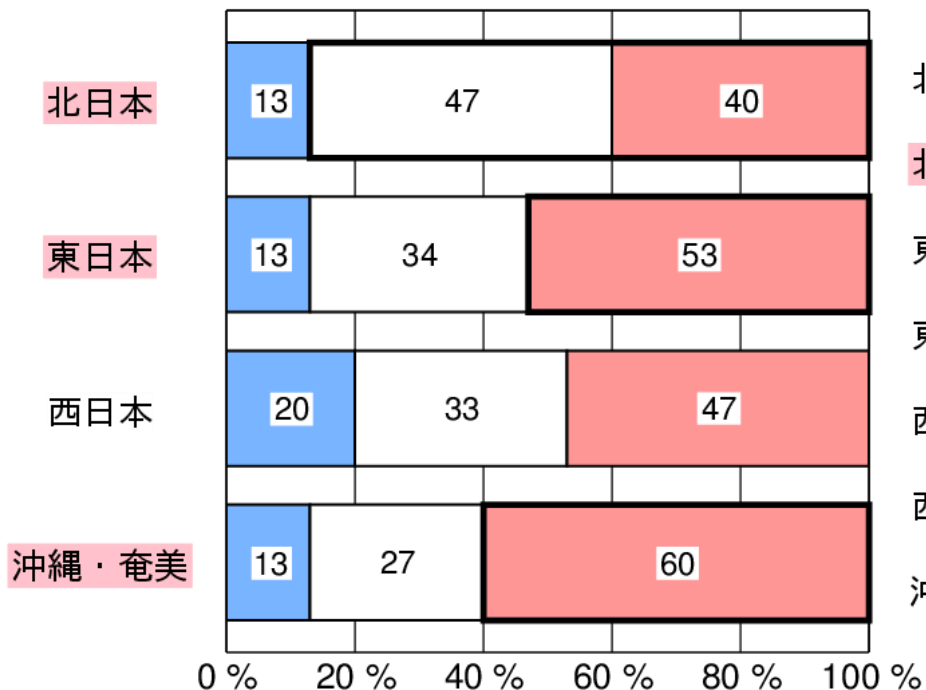


エルニーニョ現象発生時の日本の春（3～5月）の天候

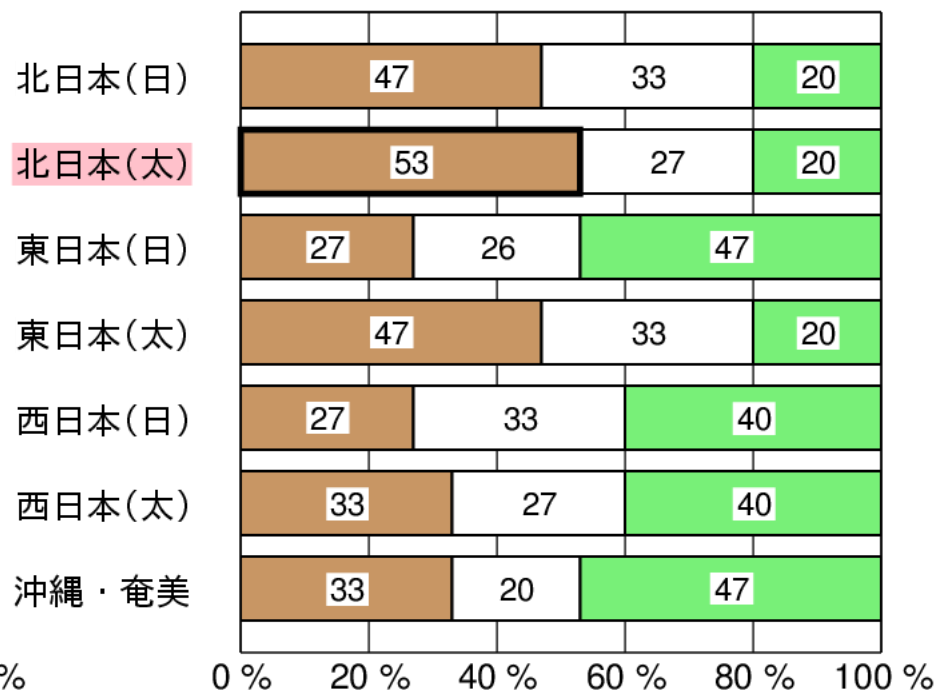
- 平均気温：北日本では**平年並**か**平年より高い**傾向
- 降水量：北日本太平洋側で**少ない**傾向



エルニーニョ現象が発生しているときの
平均気温 <春> ■ 低い □ 並 ■ 高い



エルニーニョ現象が発生しているときの
降水量 <春> ■ 少ない □ 並 ■ 多い



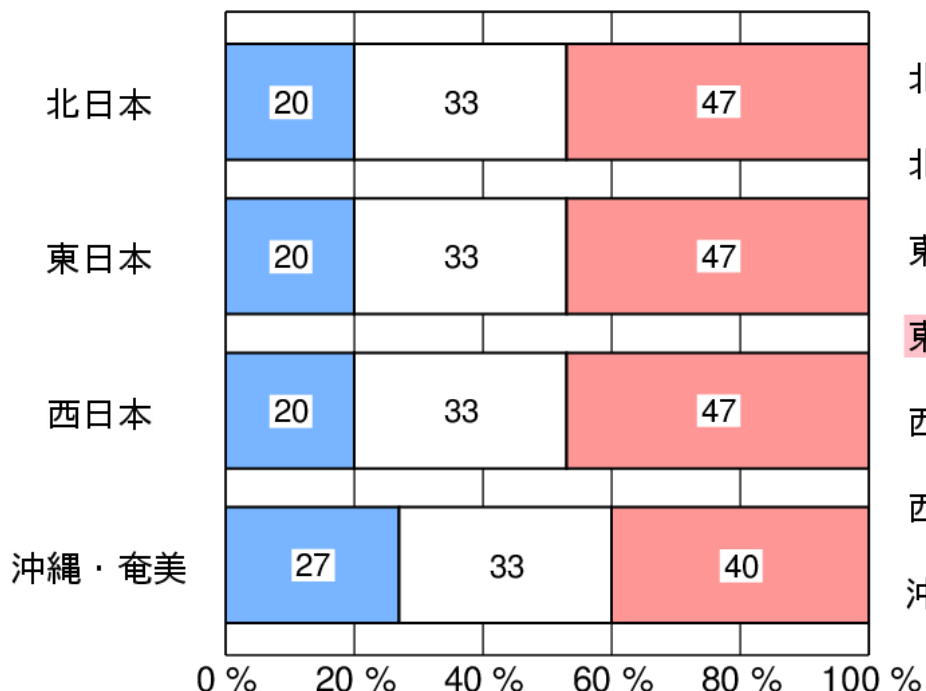
統計期間 1948年～2021年。棒グラフの数字は出現率を示す。
地域名の赤い帯と棒グラフの太黒枠は統計的に有意な傾向を示す。

ラニーニャ現象発生時の日本の春（3～5月）の天候

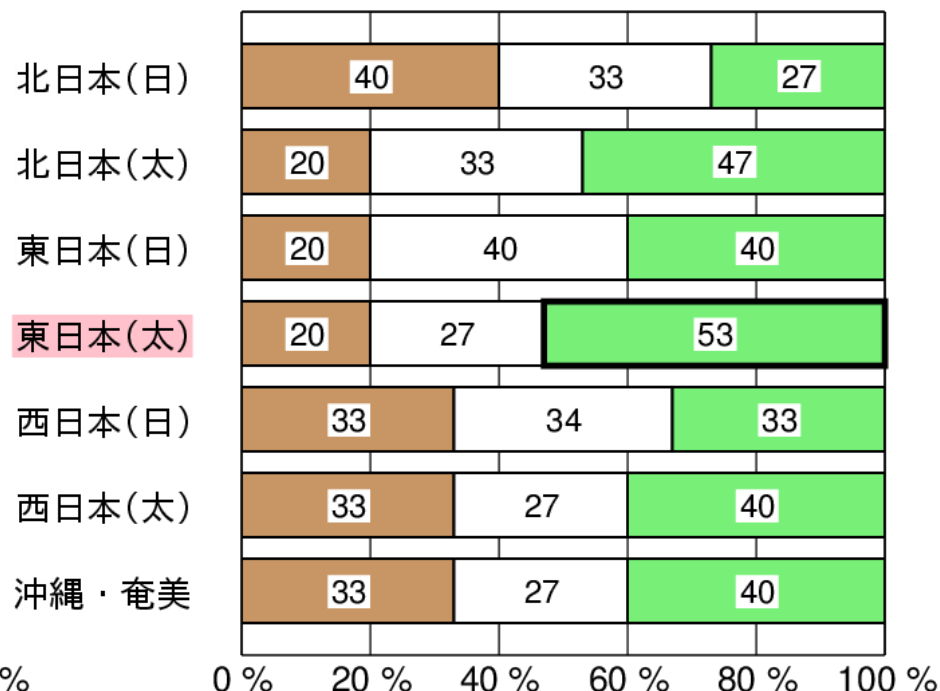
- 平均気温・降水量ともに、北日本では統計的に明瞭な傾向はみられない

※平均気温については、平年並か平年より高い年がやや多い傾向がみられる

ラニーニャ現象が発生しているときの
平均気温 <春> ■ 低い □ 並 ■ 高い



ラニーニャ現象が発生しているときの
降水量 <春> ■ 少ない □ 並 ■ 多い



統計期間 1948年～2021年。棒グラフの数字は出現率を示す。
地域名の赤い帯と棒グラフの太黒枠は統計的に有意な傾向を示す。

3か月予報（2月～4月：東北地方）

2025/1/21発表

- 寒気の影響を受けにくいため、向こう3か月の気温は高い見込み
- 東北日本海側では、冬型の気圧配置が弱く寒気の影響を受けにくいため、向こう3か月の降雪量は少ない見込み

	平均気温	降水量	降雪量
	平均気温（向こう3か月）	降水量（向こう3か月）	降雪量（向こう3か月）
日本海側	低20 並30 高50% 高い見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み	少50 並30 多20% 少ない見込み
太平洋側	低20 並30 高50% 高い見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み	予報しません
	<p>平均気温（3か月）</p> <p>低い確率 50% 40% 40% 50% 高い確率 (%)</p> <p>50% 40% 40% 50% 高い確率 (%)</p> <p>平年並み40℃</p>	<p>降水量（3か月）</p> <p>少ない確率 50% 40% 40% 50% 多い確率 (%)</p> <p>50% 40% 40% 50% 多い確率 (%)</p> <p>平年並み40mm</p>	<p>降雪量（3か月）</p> <p>少ない確率 50% 40% 40% 50% 多い確率 (%)</p> <p>50% 40% 40% 50% 多い確率 (%)</p> <p>平年並み40cm</p>

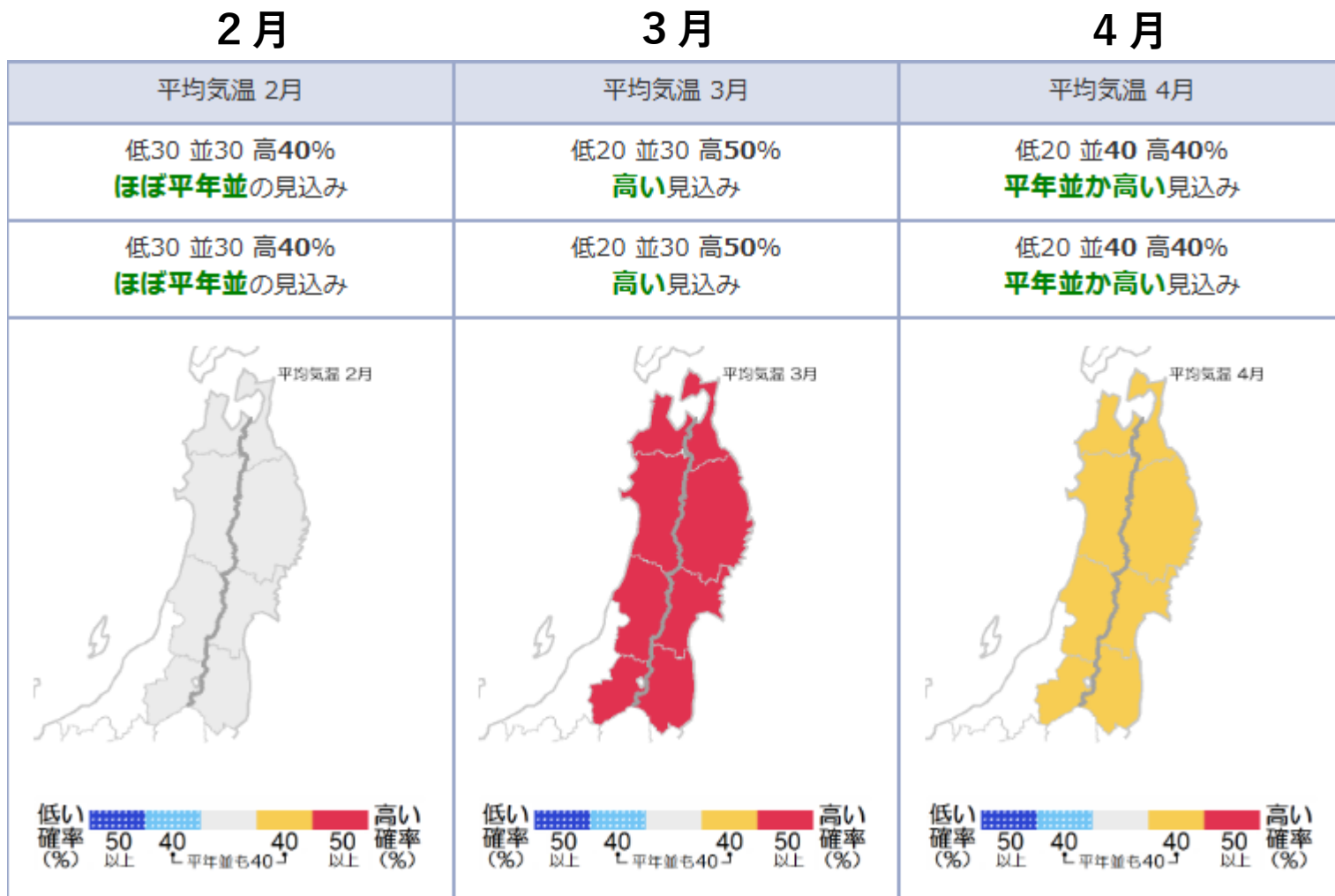
3 か月予報（2月～4月：東北地方 月毎）

- 平均気温は、3月は「高い」、4月は「平年並か高い」見込み

平均気温

日本海側

太平洋側



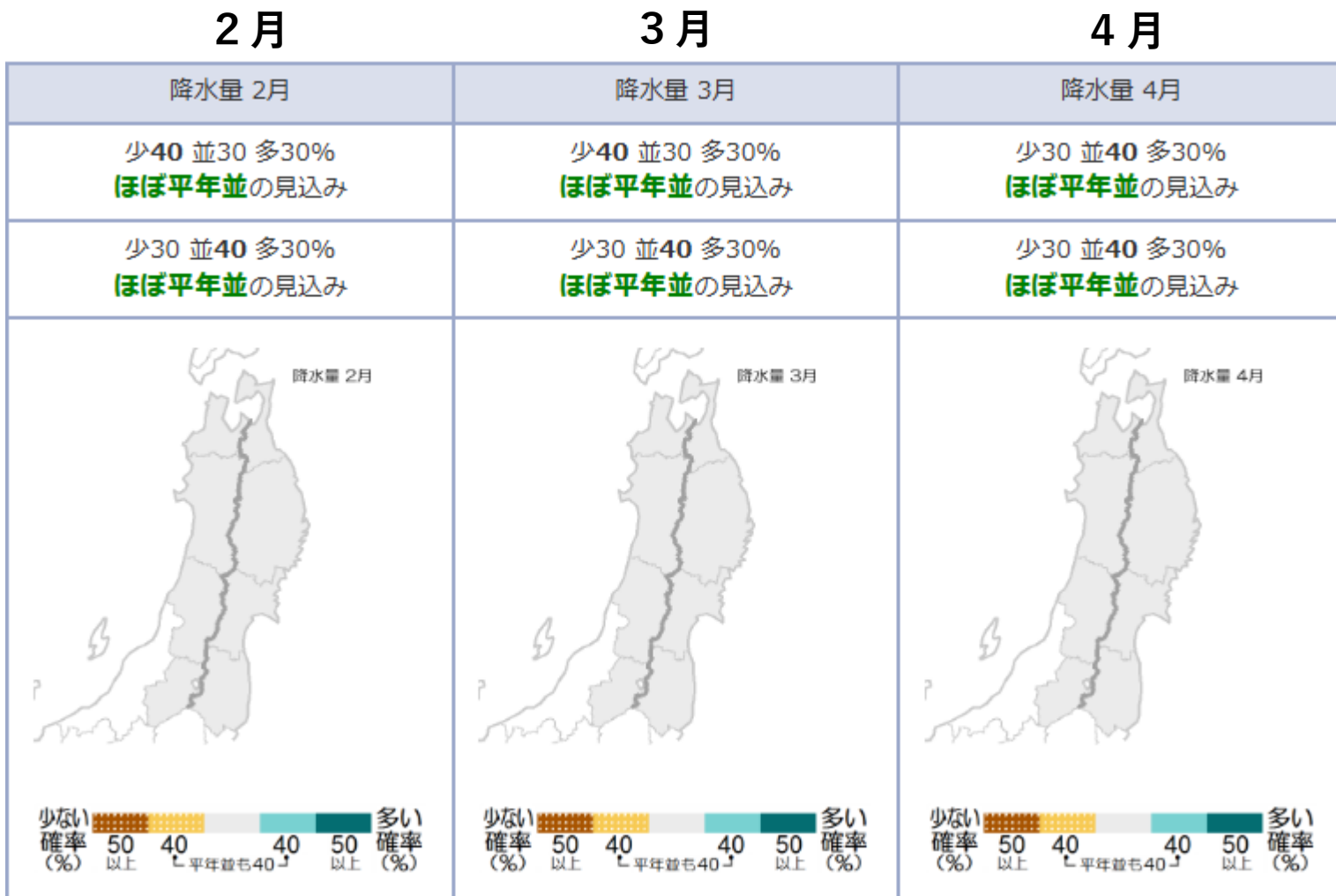
3か月予報（2月～4月：東北地方 月毎）

- 降水量は「ほぼ平年並」の見込み

降水量

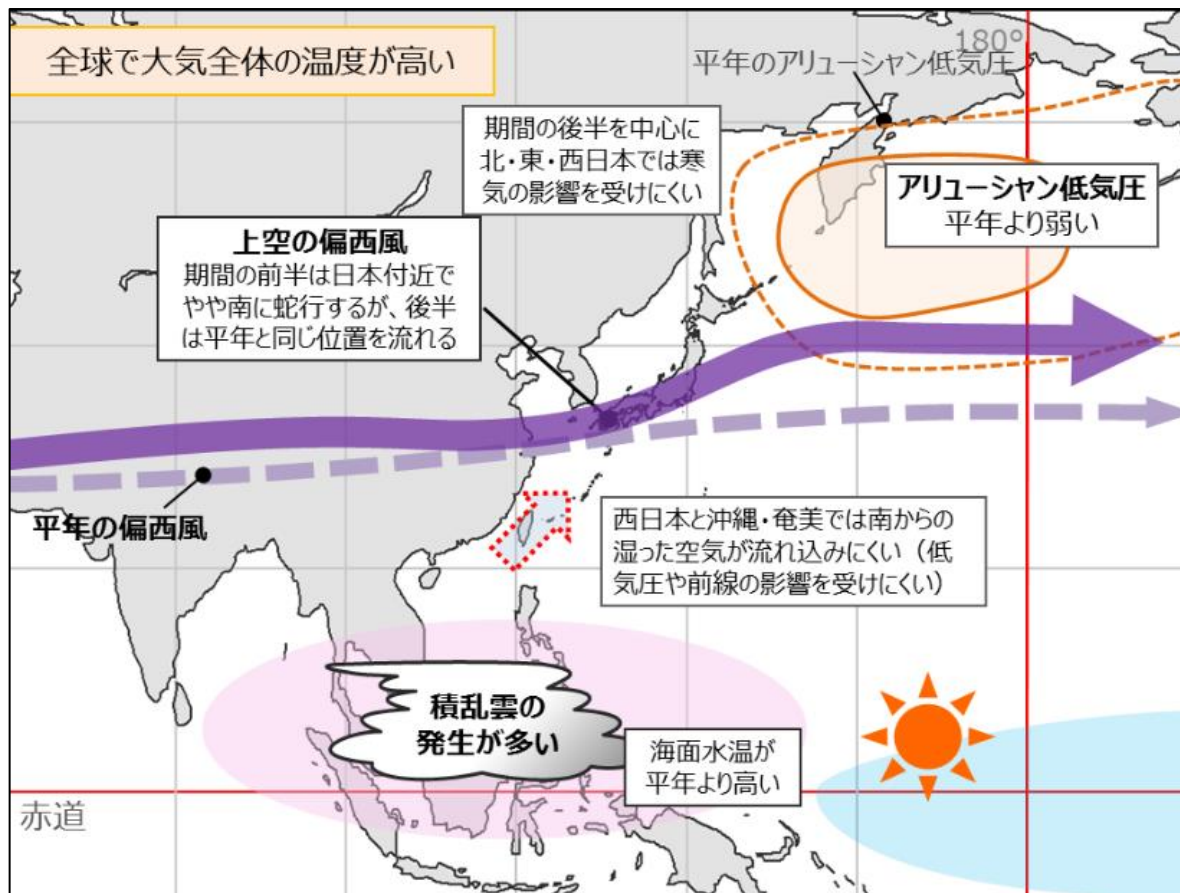
日本海側

太平洋側



3 か月予報（2月～4月：東北地方）

予想される海洋と大気の特徴



・地球温暖化の影響等により、全球で大気全体の温度が高い見込み

・ラニーニャ現象に近い状態は次第に弱まるものの、太平洋熱帯域の海面水温は中部では低く、西部では高い見込み

・このため、積乱雲の発生は、日付変更線付近では少ないが、インドネシアからフィリピン付近で多い見込み

・これらの影響により、アリューシャン低気圧は平年より弱く、東北地方では期間の後半を中心に寒気の影響を受けにくい見込み

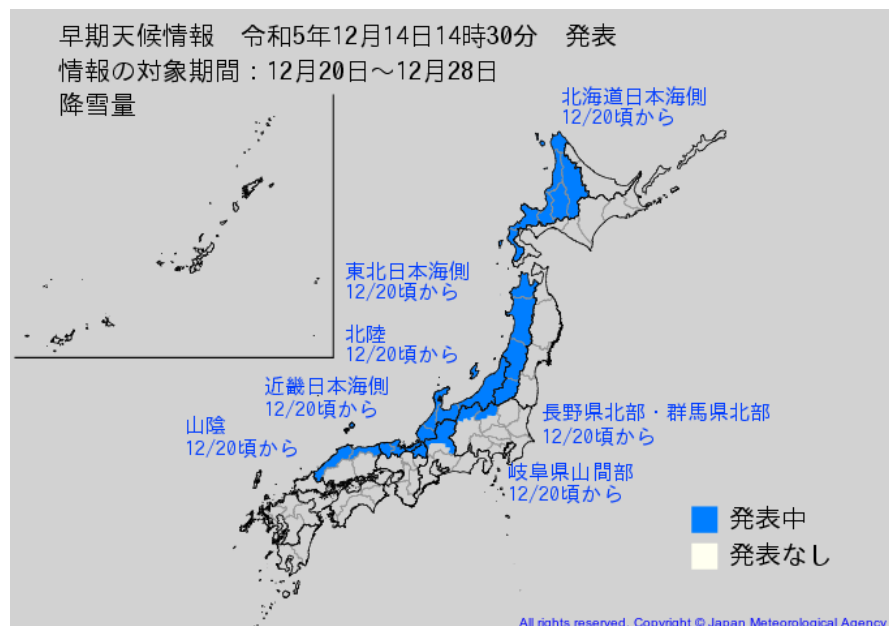
次回 3 か月予報（3月～5月：2/25発表）
暖候期予報（6月～8月：2/25発表）

早期天候情報と2週間気温予報

- 1週間～2週間先の**高温**や**低温**・**大雪**（日本海側）などの予測情報を確認できます

早期天候情報

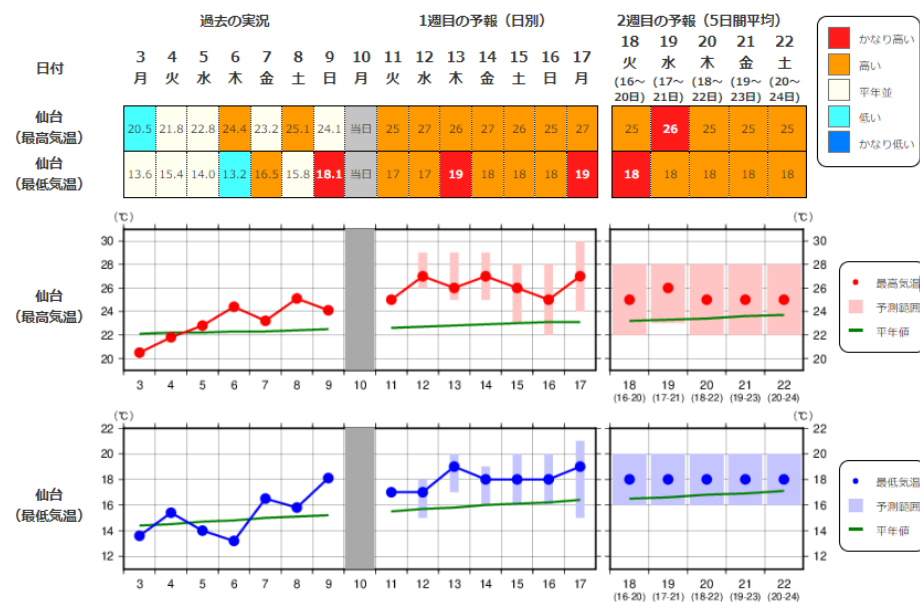
原則毎週月・木発表



6日～14日先を対象に、**10年に1度**
程度しか起きないような著しい**高**
温や**低温**、**大雪**（日本海側）とな
る可能性が高まったときに発表

2週間気温予報

毎日14時30分発表



2週間先までの**最高**・**最低**気温（5
日間平均）の予報を確認できる

ご清聴ありがとうございました

